目　次

はじめに …… 1

Ⅰ.背景 …… 1

Ⅱ.目的 …… 1

Ⅲ.事業の概要 …… 1

Ⅳ.事業の内容 …… 2

Ⅴ.検討会 …… 4

１．目的 …… 4

２．検討内容 …… 4

３．委員 …… 4

４．開催概要 …… 4

第１章　交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム …… 7

Ⅰ．目的 …… 9

Ⅱ．概要 …… 9

Ⅲ．実施内容（敬称略） …… 11

１．基調講演「家族との『死別を生きる』子どもたちを支える
～沈黙と「あのね」の間で」
講師：あしなが育英会東北事務所長　西田 正弘
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 11

２．講演「交通事故で家族を亡くした子供の支援のために～伝えたい想い～ 」
講師：渡邊 理香（平成８年、娘（当時６歳）を交通事故で失う）
…… 18

３．パネルディスカッション「子供の頃に交通事故で家族を亡くすということ」
コーディネーター：
飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事
井上 郁美
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
あしなが育英会東北事務所長　西田 正弘
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
パネリスト：
柳田 萌香（平成 21 年（当時 13 歳)、父を交通事故で失う）
佐藤 早織（平成 12 年、息子（当時８歳）を交通事故で失う）
…… 25

Ⅳ．まとめと今後の方向性 …… 37
１．まとめ …… 37
２．今後の方向性 …… 38
第２章　交通事故で家族を亡くした子供の支援に関する意見交換会 …… 41
Ⅰ.目的 …… 43
Ⅱ.概要 …… 43
Ⅲ.体制 …… 43
Ⅳ.開催日程 …… 43
Ⅴ.プログラム …… 44
Ⅵ.実施内容 …… 45
１．埼玉県 …… 45
（１）出席者 …… 45
（２）会場 …… 45
（３）ご遺族の話 …… 46
○齋藤 水奈（平成 25 年、娘（当時 10 歳）を交通事故で失う） …… 46
○佐藤 清志（平成 15 年、長女（当時６歳）を交通事故で失う） …… 48
（４）講演「「死別を生きる」子どもを支える」
講師：あしなが育英会東北事務所長　西田 正弘
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 52
（５）意見交換 …… 61
（６）意見交換のまとめ …… 64
２．滋賀県 …… 65
（１）出席者 …… 65
（２）会場 …… 65
（３）ご遺族の話 …… 66
○被害者遺族Ａ（女性）（昭和 53 年（当時中学２年生）、父親を交通事故で失う）
…… 66
○小谷 真樹（平成 24 年、娘（当時７歳）を交通事故で失う） …… 72
（４）講演「子どもの心理と支援」
講師：国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科
准教授　白井 明美
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 76
（５）意見交換 …… 86
（６）意見交換のまとめ …… 88

Ⅶ. まとめと今後の方向性 …… 89
１．まとめ …… 89
２．今後の方向性 …… 89
第３章　各種相談窓口等意見交換会 …… 91
Ⅰ.目的 …… 93
Ⅱ.概要 …… 93
Ⅲ.体制 …… 93
Ⅳ.開催日程 …… 93
Ⅴ.プログラム …… 94
Ⅵ.実施内容 …… 95
１．三重県 …… 95
（１）出席者 …… 95
（２）会場 …… 95
（３）講演「交通犯罪の被害者」
講師：同志社大学法学部・法学研究科教授　川本 哲郎
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 96
（４）意見交換 …… 103
（５）意見交換のまとめ …… 107
２.岡山県 …… 108
（１）出席者 …… 108
（２）会場 …… 108
（３）講演「交通犯罪の被害者」
講師：同志社大学法学部・法学研究科教授　川本 哲郎
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 108
（４）意見交換 …… 109
（５）意見交換のまとめ …… 113
Ⅶ.まとめと今後の方向性 …… 114
１．まとめ …… 114
２.今後の方向性 …… 114
第４章　自助グループ運営・連絡会議 …… 115
Ⅰ.目的 …… 117
Ⅱ.出席者 …… 117
Ⅲ.開催日時及び会場 …… 117
Ⅳ.プログラム …… 118

Ⅴ.実施内容 …… 119
１．１日目 …… 119
（１）講演「複雑性悲嘆の診断および治療の近年動向」
講師：武蔵野大学人間科学部人間科学科教授　中島 聡美
…… 119
（２）講演「自助グループの重要性・必要性」
講師：公益社団法人被害者支援センターとちぎ事務局長
公益社団法人全国被害者支援ネットワーク理事　和氣 みち子
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 129
（３）意見交換 …… 135
２．２日目 …… 138
（１）講演「ファシリテーターの育成について」
講師：公益社団法人全国被害者支援ネットワーク顧問　大久保 惠美子
（平成 30 年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）
…… 138
（２）意見交換 …… 145
（３）講演「多機関連携―被害者を中心とした自助グループ運営の視点から―」
講師：武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授　大岡 由佳
…… 151
（４）意見交換 …… 158
Ⅵ.まとめと今後の方向性 …… 164
１．まとめ …… 164
２．今後の方向性 …… 165

※各章における講演や体験談等における記述については、被害者の方の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。